

# 会派代表 Q & A



清新会代表  
阿部勝徳議員

## 所信について伺う

**Q** (1)心の復興が課題とされているが

解決に向けた取り組みは(2)復興事業により広範囲で土砂の採取が進んでいるが、跡地利用を考へるべきでは(3)平成29年度に完全移行する自治会制度について今年度の取り組みは(4)被災農家支援は大规模法人に限られているが個人農家への支援についても国県へ強く要望すべきでは(5)海水浴場の再開はいつ頃か(6)交流事業の推進策は(7)「地域おこし協力隊」制度の利用について。

**A** (1)「みやぎ心のケアセンター」「被災者サポートセンター」

「地域包括支援センター」「くらし安心サポートセンター」との連携を円滑にし個別支援に関し包括的で迅速な対応をする(2)民有地であり地権者の意向が反映される(3)すでに移行している地区の課題

点などを確認しながら設立に向け説明する(4)国県へ引き続き要望していく(5)月浜海水浴場を今夏より通常運営する予定だ(6)広報紙等による周知や交流イベント等を実施する(7)農、漁協、H O P E 等と連携し活用を図る。



▲心の復興が課題とされています



復興クラブ代表  
上田 勉議員

## 所信に対する具体策を示せ

**Q** 所信に対する具体策を示せ。

**A** 心の復興を重視し、各施策を行う。

**Q** 所信5項目の具体策を問う。

**A** (1)復興の具体策と新たな東松島市の構築。

特に生活環境の変化に伴う体制充実のため被災者サポートセンターにおける「地域支援、個別支援」の両面を重視する。また、移転後の新たなコミュニティづくりと見守り活動等については、「被災者支援総合交付金」等を有効に活用する。  
(2)当初予算の編成  
定住化促進、子育て支

援、産業・観光振興などの施策を重視し、財源確保に努める。  
(3)市政運営の基本方針

◆地区自治会制度への移行は、「市民力」強化が重要であり、部組織を再編し課題解決を図る。

◆早期に避難道路を完了し、地域包括ケアの構築、地域行事と連携しながら健康寿命延伸事業実施に努める。

(4)分野別施策  
8つの施策や事業を行うが健康づくり拠点整備、子育て世代の負担軽減策、教育学習環境整備、学力向上策を進める。また、仙石東北ラインの東矢本駅の停車要望も継続する。

(5)第2次総合計画  
心の復興を重視し、効果的効果的な被災者支援活動を継続する。



清風代表  
五野井敏夫議員

## 市政執行の所信について

**Q** (1)防災自立都市づくりの推進の中で復興の加速化と将来へ安全な防災減災型のまちづくりをどう進めるのか

(2)若い世代の定住促進と雇用の拡大について(3)健康寿命の延伸について(4)29年度より全市で取り組む自治協働について(5)産業振興の推進について、中でも①雇用の創出②地域活性化策、人口減少対策とどうリンクさせるか。

**A** (1)復興の加速化は、財源の確保、人材の確保、制度手続きの改善、簡素化の3点が重要である。防災減災については今回の震災による経験を反映し対処する

(2)子供を産み育てるサポート体制の充実と子育てと仕事の両立支援を図るまた企業育成誘致で雇用の創出を図る(3)高齢者が地域で活躍できる場の創出と若い世代からの健康意識の高揚化の促進(4)制度の内容の周知と制度上の変更ポイントについて理解していただけるよう取り組む(5)産業振興と雇用の創出は密接な関係があると認識している。各産業を活性化し雇用創出し市内への人口流入、定住化を促進していく。



▲望まれるさらなる復興の加速